レーザ加工学会誌投稿論文執筆要領

―レーザ加工学会編集委員会―

大　阪　一　郎\*　　摂　津　二　郎\*\*　　河　内　三　郎\*

Manuscript Instruction for Original Paper Submitted to Journal of JLPS

―Editorial Board of Journal of Japan Laser Processing Society―

OSAKA Ichiro, SETTSU Jiro and KAWACHI Saburo

\*千里大学大学院 (〒565-0871　吹田市山田丘2-1)

\*\*万里工業㈱ (〒567-0871　茨木市美穂ヶ丘11-1)

senri@jlps.gr.jp

(原稿受付 2006年　月　日)

The abstract should not exceed 200 words in length, and should be placed below the received date. These pages provide you with an example of the layout and style for 100 % reproduction, with which we require you to adopt during the preparation of your paper.

1 line

**Key words**: instruction, manuscript, journal, JLPS, five to ten keywords

# 緒　　　言

レーザ加工学会誌の原稿作成にあたっては，本執筆要領を熟読の上ご執筆下さい．本執筆要領も以下に定める様式に沿って書かれていますので，参考にして下さい．

本執筆要領の電子ファイル(論文執筆要領.doc)はMicrosoft Wordにて作成されています．各見出しや本文などの対応する箇所に上書き，あるいはテキストファイルからコピー＆ペーストすれば，所定の書式に自動的に仕上がります．他の文書ファイルからコピー＆ペーストされたときは，もとの文書の書式になります．その場合は，Wordのスタイルから該当するものを選択すると，本書式に変更されます．これ以外のソフトウエアを使用される場合は，本執筆要領に準じて下さい．

原稿は，レーザプリンタまたはそれと同等の性能をもつプリンタによって出力したものを提出して下さい．そのままオフセット印刷します．

# 原稿の書き方

## 原稿全般

用紙はA4(白地)縦向きとし，余白を上下22 mm，左右19 mmずつとって，その中に原稿を納める(版面172 mm×253 mm)．フォントサイズは9ポイント，1ページは26字×51行×2段とする．

題目，著者名，英文題名，著者英語，勤務先・所属と住所，第一著者のE-mailアドレス，原稿受付日，アブストラクト，キーワードの順に，1段組で中央に書く．その後2行空けて，本文を2段組で書く．本文については，2.2項参照．

題目は，3行目に16ポイントMSゴシック(英数字はArial)で書く．24文字を超える場合は2行で書く．副題目がある場合は，9ポイントMS明朝(英数字はTimes New Roman)で，前後を―(ダッシュ)ではさむ．

著者は11ポイントMS明朝(外国語の場合はTimes New Roman)で書き，段落の前後を0.5行空ける．著者が5名以上ときは2行に書き，最初の行の前と最後の行の後を0.5行ずつ空ける．その場合，著者と著者の間は全角2文字分空ける．英文題目，英文副題目と著者英語は9ポイントTimes New Romanで書く．著者英語は，段落の前後を0.5行空ける．2行にわたる場合は，最初の行の前と最後の行の後を0.5行ずつ空ける．勤務先・所属は9ポイントMS明朝(英数字はTimes New Roman)で，著者ごとに肩字で\*, \*\*, \*\*\*, †, ††, †††を付し，同一所属はまとめて書く．第一著者(ファーストオーサ)のE-mailアドレスも添える．

原稿受付は9ポイントMS明朝(英数字はTimes New Roman)で書く．投稿時は月日を空欄とし，掲載可となった段階で著者が記入する．

アブストラクトは，左右に3字のマージンをとり，英文200語以内で書く．フォントは9ポイントTimes New Romanとし，文頭に4文字スペースをあける．キーワードも左右に3字のマージンをとり，英語10語以内を9ポイントTimes New Romanで書く．文頭に4文字スペースをあける．アブストラクトとキーワードの行間は最小値11ポイントとする．

章に相当する見出し(大見出し)は，段落の前後を0.5行開け，中央に書く．章番号を含めて26字を超えるものは2行で書き，最初の行の前と最後の行の後を0.5行ずつ空ける．節，項に相当する見出し(中見出し，小見出し)は左詰めで，全角スペースの後に書く．上下の行を空けない．

行頭・行末禁則文字を設定する．上下付き文字は行頭禁則とする．欧字，数字は半角文字を使用する．欧字，数字のフォントは論文全体を通じて統一する．量記号はイタリック体(斜体)，単位記号，演算記号はローマン体(立体)とする．

句読点は，｢。｣｢、｣ではなく，｢．｣｢，｣(ピリオド，コンマ)を用い，全角とする．



**Fig. 1** Example of figures.

**Table 1** Example of tables.

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 0.1 nm | 1 μm | 10 μm | 100 μm |
|  | 6×108 | 6.3 | 1.002 | 1.0000002 |

図表は，原則として，本文記述の近くの上方または下方にまとめて割り付ける．一つの図表は1段に納める．1段に納まらない場合は，他方の段に左または右に14文字以上入れられなければ，左右を余白として中央に入れる．

最終ページに余白が出る場合は，本文を2段均等に分け，下段2段を通して余白にする．

## 本文の書き方

フォントは9ポイントMS明朝(英数字はTimes New Roman)とする．ただし，大見出し，中見出しはＭＳゴシック(英数字はArial)とする．

本文の大見出し(章番号)，中見出し(節番号)，小見出し(項番号)はPoint Systemとし，1., 2., 3., ･･･, 1.1, 1.2, 1.3, …, 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3, …，とする．より小さい見出し(目番号)は，(1), (2), (3), ･･･とする．見出しが4字以下のときは，文字間に全角または半角スペースを入れて，全体で5字または5.5字になるように調整する

文中に使用する術語，用語などは各専門学協会編の辞典，便覧による．

脚注が必要なときは，関係する本文中の語に\*1, \*2,…を付し，同じ原稿用紙の下にケイ線( )で区別して書く．

## 記号･単位

### 記　　　号

記号に続く単位には [ ] をつけ，数値に続く単位には [ ] をつけない．たとえば，[W/m2 K], 17.4 W/m2 K．

### 単　　　位

単位は原則としてSI単位を用いる．数値と単位の間は半角スペースを入れる．

## 数　　　式

数式は，できるだけ数式エディタを用いる．フォントサイズは，本文と同じ9ポイントとする．数式エディタを使用しない場合は，大文字，小文字，上ツキ，下ツキなどがはっきりわかるようにする．式中での括弧の順序は原則として { [ ( ) ] } とする．式が途中で切れるときは，次行のはじめに×,＋,－をつける．式番号は各式の右端に通し番号をつける．本文中では式(1)のように書く．

## 表

表題，説明文などは英語とし，フォントは8ポイントMS明朝(英数字はTimes New Roman)とする．表番号は**Table 1**(Times New Romanボールド体)のように表し，本文中でもこれを使用する．

8ポイント組み，行間12ポイント．主な罫線は細線(ヘアライン)とし，左右端の罫線は入れない．

## 図および写真

### 図

#### 図の題目・説明文

図の題目，説明文などは英語とし，フォントは8ポイントMS明朝(英数字はTimes New Roman)とする．図番号は**Fig. 1**(Times New Romanボールド体)のように表し，本文中でもこれを使用する．

#### 図中の文字

図中文字は仕上がり8ポイント(天地約2 mm)を標準とし，すべて同じ大きさに統一するようにする．

### 写　　　真

写真は図として取り扱う．したがって番号も図と同じ通し番号を使用する．写真は鮮明なものを使用する．コピーはできるだけ避け，コピーのコピーは掲載できない．

### 注　　　意

図表(含写真)は，著者のオリジナルを使用する．

# 記号説明

文中で用いた記号の説明を別につけるときは，以下に例示するように，ローマ字，ギリシャ文字，Subscript, Superscript の順で，それぞれアルファベット順に配列する．同一文字は，大文字，小文字の順，添字つきの記号は，添字のアルファベット順，数字の順とする．

記号と説明文を：(コロン)でつなぎ，単位は右端に [ ] 内に記す．特に無次元の変数，量を示す記号の単位は [－] として示す．

：波長 [nm]

：真空中の光速 [m/s]

：屈折率 [－]

# 結　　　論

結論を箇条書きで書く場合は，以下のように書く．

1. 1字インデントして (1) のように番号(連番)を振り，1字空けて本文を書く．
2. 本文が2行以上にわたる場合は，1字ぶら下げる．

# 参考文献

参考文献は本文中のその項目に1)のように上付き通し番号をつけ，最後にまとめて書く．参考文献の略し方は原則として科学技術文献速報に従う．

参考文献は，文献番号を縦にそろえ，文献自体も行頭をそろえる．フォントサイズは8ポイント，行間最小値11ポイントとする．

参考文献はすべて欧文表記とし(日本語文献もすべて英語表記とする)，著者名は姓，名(頭文字)を記載する．

著者が複数の場合は省略せず全著者名を記す．また論文の表題は必ず明記する．

文献の引用は，雑誌は，

文献番号)　著者名: 論文の表題，雑誌名，巻数(ボールド体)-号数，(発行年・西暦)，通巻ページ．

の順に書く．単行本は，

文献番号)　著[編]者名: 書名，出版社，発行地(欧文のみ)，(発行年・西暦)，引用ページ．

の順に示す．

参考文献は入手可能なものに限り，投稿中の論文は引用しない．

参考文献

1. Gutierrez, G. and Jen, T.-C.: Numerical Simulation of Non-Linear Heat Conduction Subjected to a Laser Source, Int. J. Heat Mass Transfer, **43**-12, (2000), 2177.
2. Filgas, D.: Advances in High-Power CW YAG Lasers and Fiber Optics Beam Delivery, Proc. of ICALEO’92, (1992), 63.
3. Hoffman, J.D.: Numerical Methods for Engineers and Scientists, McGraw-Hill, New York, (1992).
4. Osaka I.: Frontiers of Laser Materials Processing, J. Jpn Laser Processing Soc., **6**-3, (1999), 248. (in Japanese)

(論文執筆要領2006年1月7日版)